2020 年度（令和 2 年度）事業報告書

2020 年（令和 2 年）4 月 1 日～2021 年（令和 3 年）3 月 31 日
特定非営利活動法人さくらんぼ

１．事業の成果

《全体活動報告》

2020 年度は以下の法人クレド、事業・活動方針に則り活動を行いました。

《法人クレド》

・ミッション:参加障害のない街づくり
・目指す世界観：
生活力、知力、体力、人間関係。持っているものはそれぞれ違う　それでも一緒に暮らせる社会
・さくらんぼマインド：私たちは、ひとりひとり力を持っていることを信じます
①尊重：
相手の気持ちを尊重します。ただし、子どもと大人の利害が対立する場合は、子どもの側に立ちます
②依怙贔屓上等：
その人に必要なこと、必要なやり方を大切にします
③フットワーク：
気になることがあったら、ぱっと動ける身軽さを大切にします
④セルフケア：
いきいきと働けるために、自分の心身のケアも大切にします

≪事業・活動方針≫

１．参加障害のないまちづくりを目指し活動していきます。
２．NPO である意味が見える事業展開をしていきます。
３．組織の会議体を見直し、法人のすみやかな意思決定・次期を担う人材育成を図っていきます。以下の３つの会議体をつなげながら新しい組織決定の形を目指します。
４．昨年度コロナ感染拡大の影響でまとめができなかった第 2 期中期計画を完成させ、丁寧に共有し、下半期から法人として中期的に安定した経営、運営できる体制づくりを行うため第期中期計画に沿って事業運営を行います。
５．保育室「ネスト」を 2021 年 4 月に認可移行するための準備を行います。
６．保育室「ネスト」跡地の活用について検討し方向性を決定します。
７．地域子育て支援拠点の次期プロポーザルを行うか否かを決定します。

≪活動報告≫

１．参加障害のないまちづくりを目指し活動していきます。

2020 年度は緊急事態宣言が発令されたコロナ禍でのスタートとなりました。

誰も経験したことがない状況の中事務局が中心となり、法人内事業所の情報を常に把握できるような体制を作り法人内で丁寧に連絡を取り合うことで、利用者の混乱ができるだけないように気を配ることに注力しましたが、日々変わる状況と、市からの度重なる通知への対応に事務業務の負担が集中しました。緊急

事態宣言発令後も横浜市の方針に従い利用の自粛をお願いしなくてはいけない状況が続きました。利用自粛が解除された夏には法人の保育園を対象に自粛中の家庭状況を調査するアンケートを実施しました。その結果から、コロナ禍でこれまで保育園や子育て支援に分散されていた子育ての負担が一気に家庭内に集中し、子どもの育ちに関する不安、家事や育児の役割分担に関する負担感などが大きくなったことが明らかになりました。「市の自粛要請に基づいた対応だけでなく別の対応ができたかもしれない」「法人内事業の情報提供で連携できたケースもあったのではないか」ということを確認する機会となりました。一方、保育園をはじめとした法人がこれまで立ち上げて運営してきた事業が今や社会を下支えするのに必要不可欠な社会インフラの一つになっているということを改めて感じました。

2．ＮＰＯである意味が見える事業展開をしていきます。

居住支援プロジェクトを立ち上げ令和３年度開所の準備を進めました。そのためのクラウドファンディングを通じて支援者を広げる活動も行い、多くの賛同を得ることができました。

同時に法人内部に呼び掛け、このプロジェクトへの継続寄付を募りましたが、結果このような活動に対しての法人内からの積極的な参加が減少してきていることも見えてきました。法人外に支援の輪が広がってきた一方で、法人内の理解を得るために、内部へ発信し続けることが弱くなってきていることが背景にあるのではないかと感じています。

中でも個別サポート事業は今年度は予想以上の赤字幅となりました。個別サポート事業はさくらんぼの法人ミッションをまさに体現する事業であり、今後も必要とされるサポートを安定して継続していくためにその価値や、財務方針、検討課題の棚卸をし、法人内に合意をとる必要があると昨年度秋頃から課題として上がっていましたが検討に着手することが出来ませんでした。また、個別サポート事業については、その価値と位置づけを改めて確認していく必要があります。

また、ネストキッズ学童は大幅な利用者減となり、収支状況が急激に悪化しました。コロナ禍で家庭の状況も大きく変化する中、地域に必要とされる学童とはどんな学童なのか、今後の事業の見直しが必要であると確認されました。

一昨年度にプロジェクト答申が起案された居場所プロジェクトは中期計画プロジェクトで検討した結果、今は実現が難しいと判断し断念するという結論に至りました。

3．組織の会議体を見直し、法人のすみやかな意志決定・次期を担う人材育成を図っていきます。

法人のすみやかな意思決定のために経営企画室メンバーを加えて経営企画会議を実施するなど会議全体の見直しを行いましたが、事前の準備不足が大きく影響し判断の場が経営企画会議に偏ったうえ会議時間が大幅に長くかかる結果となり、あらゆる判断の遅れにつながりました。準備不足に陥った大きな要因として、理事間や企画室との事前準備のための場を作らなかったなどコミュニケーション不足が挙げられます。速やかな決定をするために見直した会議体でしたが、この反省は改善に向けて次期につなげたいと思います。

施設長連絡会は全事業所の長が集まる場として法人内事業の理解、連携等、横のつながりを作る上でも有効な場となった一方で、事業部会議がなかったことによって、多くのことを事業所が考え判断し決定するという機会を奪ってしまう結果になったと感じます。

M コース会議では「法人運営の基礎を知り、将来的に運営に係る人材を育てる」ことを目的にスタートしましたが、当初想定していた目的まで達成することはできませんでした。M コースを選択している

メンバーに対しての動機付けや法人運営への関心を高める効果はあったと思います。

法人の大きな課題として現在は育成のための研修体系などの枠組みがなく、人材育成をどのように行っていくか検討が必要だという確認がされました。

4．昨年度コロナ感染拡大の影響でまとめができなかった第２期中期計画を完成させ、丁寧に共有し、下半期から法人として中期的に安定した経営､運営できる体制づくりを行うため第２期中期計画に沿って事業運営を行います。

「事業規模に適した組織形態の検討」「ネストの跡地活用」の 2 つの中期計画を策定し運用を開始しましたが、策定までにコロナウィルス感染拡大の影響で大事な話し込み期間が短くなってしまったことの影響は大きく、特に１つ目の「事業規模に適した組織形態の検討」については完成後に細かい言葉の理解もプロジェクトメンバー間でそれぞればらつきがあることが分かりました。そのため「事業規模に適した組織形態の検討」については、うまく進められない苦しさを感じ、今後の進め方について改めて検討しなおすことが必要だと感じています。「ネストの跡地活用」はプロジェクトを立ち上げ、保育室の跡地に小規模保育園のはぐ＠ねすとと乳幼児一時保育事業のばおばぶを移転することとし計画通り進んでいます。

5．保育室「ネスト」を 2021 年 4 月に認可移行するための準備を行います。

横浜保育室として 22 年間この地域で運営してきた保育室「ネスト」を認可移行するため、プロジェクトチームを立ち上げ準備を進めました。保育園だけでなく法人本部と下宿事業、4 月より開所される居住支援事業が一体となった施設とし、また大会議室を地域に開放できるようにしました。予定通り 4 月移転準備ができました。

6．保育室「ネスト」跡地の活用について検討し方向性を決定します。

跡地プロジェクト会議の中で、理由を問わず地域の親子が利用しやすく、養育者がホッとできる場を作りたいということを確認し小規模保育事業のはぐと乳幼児一時預かり事業のばおばぶを核とした認可外保育施設が入った複合施設という方向性を決定しました。

7．地域子育て支援拠点の時期プロポーザルを行うか否かを決定します。

地域子育て支援拠点の次期プロポーザルを行うことを決定し、次期 5 年の運営法人に選定されました。

２．事業内容

（1）　特定非営利活動に係る事業

① 保育事業

《横浜保育室》

事業名	保育室「ネスト」
内　容	◇内　　容　　横浜保育室
	◇日　　時　　２０２０年4月1日～２０２１年3月３１日
	◇場　　所　　横浜市瀬谷区三ツ境 5-5
	◇従業員人数　　２７名
	◇対　象　者　　0～5 歳を中心とした乳幼児、90 名とその養育者
	◇この事業にかかった支出額　79,919,361 円

《小規模保育事業》

事業名	ネストぽぽ
内　容	◇内　　容　　小規模保育事業　A 型
	◇日　　時　　２０２０年４月１日～２０２１年３月３１日
	◇場　　所　　横浜市瀬谷区瀬谷 3-10-5
	◇従業員人数　　１２名
	◇対　象　者　　0～2 歳を中心とした乳幼児 19 名とその養育者
	◇この事業にかかった支出額 53,061,780 円

事業名	ネストうーたん
内　容	◇内　　容　　小規模保育事業 A 型
	◇日　　時　　２０２０年４月１日～２０２１年３月３１日
	◇場　　所　　横浜市瀬谷区瀬谷 3-9-20
	◇従業員人数　　２０名
	◇対　象　者　　0～2 歳を中心とした乳幼児、22 名とその養育者
	◇この事業にかかった支出額　65,106,596 円

事業名	はぐ＠ねすと
内　容	◇内　　容　　小規模保育事業 B 型
	◇日　　時　　２０２０年４月１日～２０２１年３月３１日
	◇場　　所　　横浜市瀬谷区三ツ境 5-14　ラフィネエスパース 303 号室
	◇従業員人数　　１２名
	◇対　象　者　　0～2 歳を中心とした乳幼児、12 名とその養育者
	◇この事業にかかった支出額　41,127,070 円

事業名	てぃんく２＠ねすと
内　容	◇内　　容　　小規模保育事業 B 型
	◇日　　時　　２０２０年４月１日～２０２１年３月３１日
	◇場　　所　　横浜市瀬谷区瀬谷 4-5-32
	◇従業員人数　　２０名
	◇対　象　者　　0～2 歳を中心とした乳幼児、16 名とその養育者
	◇この事業にかかった支出額 51,118,892 円

《認可保育事業》

事業名	ネスト瀬谷
内　容	◇内　　容　　認可保育所
	◇日　　時　　２０２０年４月１日～２０２１年３月３１日
	◇場　　所　　横浜市瀬谷区中央 6-15
	◇従業員人数　　36 名

	◇対　象　者　　0～5 歳を中心とした乳幼児、90 名とその養育者
	◇この事業にかかった支出額　142,586,459 円

② 子育て支援事業

《一時預かり事業》

保育ルーム「ばおばぶ」	◇内容　　横浜市乳幼児一時預かり事業 ◇日時　　令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 ◇場所　　横浜市瀬谷区三ツ境 10-6 ◇従業員人数　１２人 ◇この事業にかかった支出額　18,033,303 円

保育ルーム「くくる」	◇内容　　横浜市乳幼児一時預かり事業 ◇日時　　令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 ◇場所　　横浜市瀬谷区瀬谷 3-9-20 ◇従業員人数　８人 ◇この事業にかかった支出額　10,761,669 円

《ひろばネスト》

内容	◇内　　容　親と子のつどいの広場事業 ◇日　　時　令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月（月～金）10:00～16:00 ◇場　　所　横浜市瀬谷区三ツ境 23－8 ◇従業員人数　非常勤スタッフ 8 名　常時 2 名以上 一時預かり時には専属スタッフ 1 名加配 ◇対　象　者　未就学児（主として 0～3 歳まで） のべ 3,300 名の乳幼児とその養育者 ◇新規登録者数 20 組／年　延べ利用者数　300 名／月 一時預かり利用者数　10 名／月　を目指します。 ◇この事業にかかった支出額　　7,142,380 円

《にこてらす》

内容	◇内　　容　　０～就学前までの親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談・援助の実施 子育て支援情報の取集と提供 子育ておよび子育て支援に関わる人材支援 子育て支援者のネットワークづくり 利用者支援事業 子育てサポートシステム区支部事務局 ◇日　　時　　２０２０年4月1日～２０２１年3月３１日 ◇場　　所　　瀬谷区二ツ橋町 469　せやまる・ふれあい館 ◇対　象　者　　０歳から就学前の親子 2,000 人と子育て支援者 ◇この事業にかかった支出額　44,467,259 円

《児童家庭支援センター　うぃず》

内容	◇内容 ・相談事業 ・関係機関との連携・連絡調整 ・里親への支援 ・養育家庭等支援事業 ・地域交流事業 ・横浜型子育て短期支援事業の実施・利用調整 ◇日　時　　2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日 ◇場　所　　横浜市瀬谷区三ツ境 11－7　丸松ビル 1 F ◇従業員数　　6 人 ◇この事業にかかった支出額　29,430,161 円

③放課後児童健全育成事業

A）ネストキッズ学童クラブ

内容	◇内容　　横浜市放課後児童クラブ事業（学童クラブ） ◇日時　　２０２０年4月1日～２０２０１年3月３１日 ◇場所　　横浜市瀬谷区三ツ境 100-6 ◇従事者　１２人◇対象者　小学生（定員６０人） ◇この事業にかかった支出額　21,368,593 円

B）阿久和小学校キッズクラブ

内容	◇内　　容　　横浜市放課後児童クラブ事業 ◇日　　時　　２０２０年4月1日～２０２１年3月３１日 ◇場　　所　　横浜市瀬谷区阿久和南 4-8-2 ◇従　事　者　　９人 ◇対　象　者　　小学生　（定員６６人） この事業にかかった支出額　15,284,703 円

④本部事業

《個別サポート事業なんくる応援団》

内　容	◇内　容　　子育て家庭への家事支援・育児支援　横浜市委託事業 ◇日　時　　２０２０年4月1日から２０２１年3月３１日 ◇事務所　　横浜市瀬谷区三ツ境　１１－７ ◇従業員数　　コーディネーター２名　非常勤スタッフ４名 ヘルパー等４０名 ◇対象者　　横浜市瀬谷区、旭区を中心とした子育て支援家庭 ◇サービス提供目標時間　　４５００時間　　利用登録者　２９０名 ◇この事業にかかった支出額　11,853,483 円

《下宿事業》

内　容	◇内　容　　親を頼れない女子学生のための下宿事業 ◇日　時　　２０２０年4月1日から２０２１年3月３１日 ◇事務所　　横浜市瀬谷区三ツ境 ◇従業員数　　コーディネーター１名（法人外）　担当者（兼務）1 名 ボランティア「おばちゃんず」メンバー11 名 ◇この事業にかかった支出額　2,344,921 円

以上